広報ひらつか
学校週5日制特集
平成4年5月17日（特集第38号）
発行・神奈川県平塚市　編集・企画部広報広聴課
〒254 平塚市浅間町9番1号　電話23-1111・35-1111

子供たちを いきいき のびのびと

学校週5日制が始まる

9月から毎月第2土曜日が

★……学校の週五日制は、九月から全国で実施され、毎月第二土曜日が休校日となり…★
★…ります。それに先立ち、市内各中学校では、五月二十三日の第四土曜日を休校…★
★…とすることにしました。小学校では六月または七月に予定されています。いず…★
★…れにしても、二十一世紀を担う子供たちが明るく健やかにのびのびと生活でき…★
★…るよう、各家庭で、また地域ぐるみで温かく見守ってください。……★

子供たちは今何を

子供たちは豊かな物に囲まれ、何一つ不自由のない暮らしをしているかのように見えます。

しかし、子供たちにとって一番大切な心と体は、多くの問題を抱えています。本来の子供らしい活発さを失い、自立心や創造性、協調性に欠ける子供が多くなっています。学校から帰宅後の遊び、自然体験、生活体験、家事の手伝いなど、どれをとっても減少の傾向にあります。

一方、体験が豊富な子供は友達が多く、生活自体を楽しいと感じ、勉強や遊びなどにも積極的です。

週五日制の意義

全国的に、今年の九月から学校週五日制が実施され、毎月第二土曜日が休校日となります。このことは、ただ単に休みの日が増えることだけではありません。子供たちに一番大切な体験学習の場と時間を提供することにあります。

子供たちが、テレビなどから間接的な体験学習をすることも良いのですが、やはり自分の五感を十分に働かせて実体験の機会を多く持つことが、子供たちに自発性を身に付けさせ、社会の変化に対して主体的に対応できる能力を培うことになります。

子供の発達段階に応じ、十分な体験ができる場とゆとりの時間を確保することが、学校週五日制の大きな意義といえます。

市の取り組み

中学校は5月23日 幼・小学校は6月に

平塚市では、「個性・共生・共育」のふれあい教育を、生涯学習や学校週五日制の本質的なことと位置づけて推進しています。

その中で、県指定の実践校による土曜休校の実施と併せて、条件整備と啓発活動を当面の課題としています。また、教育委員会を中心に庁内に学校週五日制検討委員会などを設け、各育成団体への啓発活動など、多くの面から具体的な取り組みを進めています。

学校では、九月から実施される週五日制がスムーズに実施できるよう、市立の各中学校では五月二十三日の第四土曜日を休校日とします。市立小学校と市立幼稚園では、六月二十七日の第四土曜日（崇善・松原小学校と松原幼稚園は六月十三日、山下小学校は七月十一日）を休校日に予定しております。

なお、崇善・松原小学校、江陽中学校については、この土曜日休校とは別に、県指定の実践校としての取り組みも予定されています。

世の中の変化に対応

私たちは、物に不自由することのないほど、大変豊かな生活を送ることができるようになりました。

しかし、この「豊かな生活」を実現する過程では、急激な世の中の変化がありました。農業中心の経済から工業中心の経済への社会構造の変化、核家族化、都市化の進展に伴う自然環境の減少など、多くの変化を経験しました。

その中で、人々の価値観や教育観が次第に変化し、これらの変化に対応していくために、学校教育だけでなく、家庭や地域などの教育の役割、機能をこれまで以上に重視しなければならなくなってきています。

多くの国々が今、教育改革に取り組んでいるのもこういったことのためと考えられます。

豊かな体験

をになう子供のために！

時間

ゆとりのある時
とって豊かな創
。
想と感性、鋭
、変化への対
とで、自主的
ていく「生きる
させましょう。

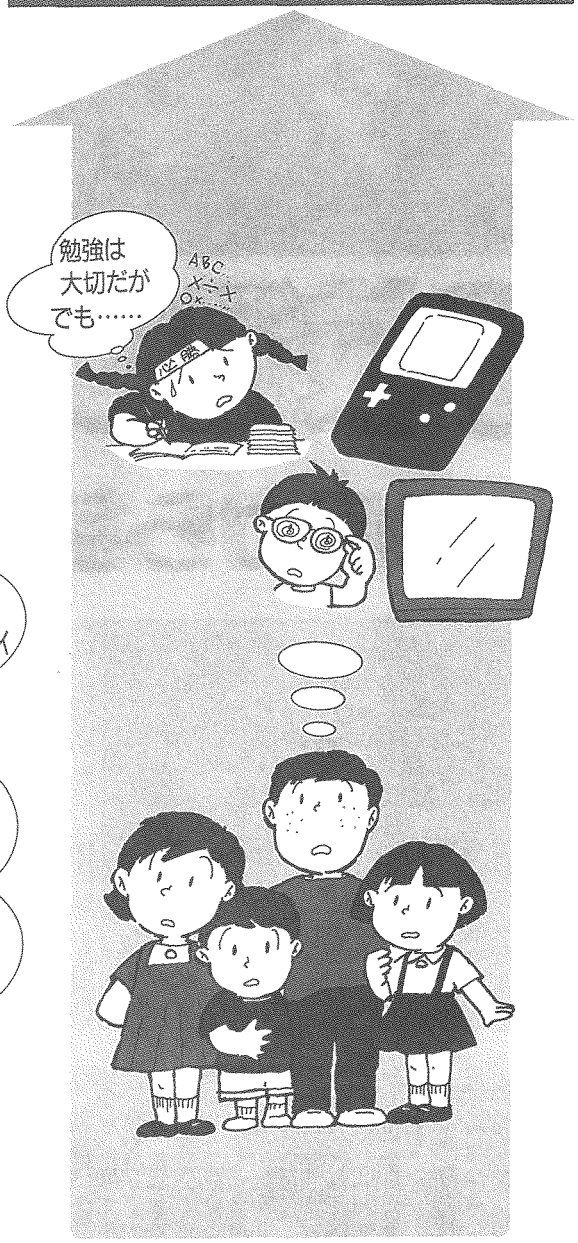
自分の意志で行動

中学生の時期は、意欲的な行動や、目標を持って、自分の意志で行動することができる年代です。

そのため、自分の行動を自分の責任で決める自発性を身につけさせましょう。

社会の変化のなかで…子供たちは今！

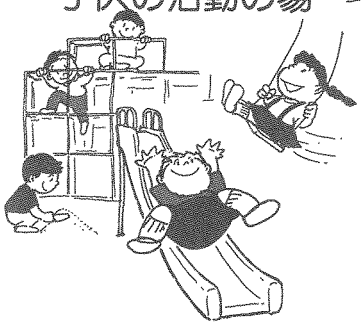
豊かな物に囲まれ、一見幸せそうな生活の中で、おけいこごとや塾通いなど、時間に追われた生活を送っています。また、受験戦争など、精神的にもゆとりのない生活を送っています。その結果、自然や人とのふれあいの減少や体力の低下など、発達段階に応じての基礎的な体験が不足している状況にあります。



学ぶ力が育ちます

ぐくむもの!!

地域
子供の活動の場



近所の
おじさんの
一声！

身近な施設を
どんどん
使おう

お祭りおみこし
ワッショイ
ワッショイ

お年寄りを
大切にする
心

豊かな
自然

校の
る場

を図り、子供
的に活動でき
待てるように

豊かな自然の中で、子供が安全に活動できる場を確保する。ボランティア活動など社会参加促進のための条件整備を行い、地域の豊かな教育力の活性化に努める。

ゆとりある生活

みんなで考えよう 次代

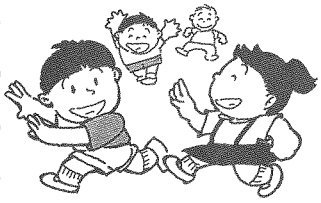
県指定校の実践内容

(1)土曜休業日を設けました。
(2)行事や行事の準備を工夫して、子供たちの学習負担が増えないように配慮しました。
(3)学校・家庭・地域社会の教育のあり方と連携を深める方法を研究し、実践しました。

実践によって聞けた子供や保護者の声

- 午後から子供と公園に出掛けて遊び、近所の人とのふれあいもできました。
- 子供が進んで掃除や洗濯をやりました。
- 子供が計画して公共施設へ行き、有意義に過ごしました。
- この日のために立てた計画が実行できました。
- 金曜日からゆったりとした気分になれて、食事の時の会話もはずみました。
- 共働きの家庭では、子供に寂しい思いをさせてしまうことがありました。

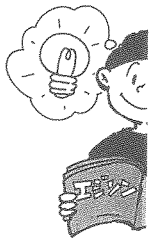
自由な活動の場



幼児や小学生にとって、一生のうちで最も活動的なこの時期は、何事にも積極的な意欲を持って行動していく態度を身につける時期でもあります。

そのために、仲間との体験や遊びを通して活動性、積極性を身につけさせましょう。

ゆとりある



生活の中に、ゆ
間を持つことによ
造性が生まれます
子供の豊かな発
い先見性、創造力
応力をはぐくむこ
に問題を解決して
力」を身につけさ

関心や意欲の継続で

子供を支えは

豊かな会話とぬくもりのある生活を大切にし、親の生き生きとした姿を通して、子供に自らの生き方を学ばせる。

子供の学習の充実を
が目標に向かい意欲的
るような友人関係が持
する。

お知らせ

平塚市立幼稚園、小学校、中学校は、１学期中に１回、土曜休校日を設けます。

各中学校では５月23日の第４土曜日を休校日とします。市立小学校と市立幼稚園では、６月27日の第４土曜日（崇善・松原小学校と松原幼稚園は６月13日、山下小学校は７月11日）を休校日に予定しています。

崇善・松原小、江陽中学校については、この土曜休業とは別に、県指定の実践校としての取り組みも予定されています。

9月から第2土曜日が休校日

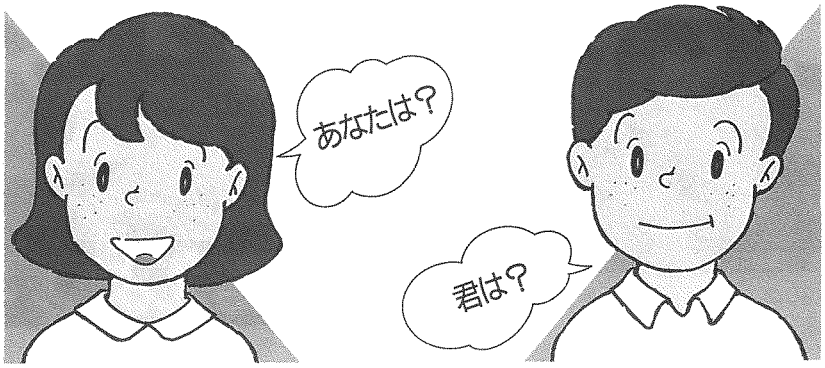
市立幼稚園、小学校、中学校や県立諸学校が、９月から毎月第２土曜日が休校日となります。

９月12日　10月10日（今年度は体育の日と重なります）　11月14日　12月12日　１月９日　２月13日　３月13日……

問い合わせ
教育委員会指導室　☎内線527

休みの土・日曜日には

学校週五日制で、土曜日が休みになります。そこで、市内の小学生、中学生に意見を聞いてみました。土曜日・日曜日の過ごし方は、どうしたら良いのか、ご家族のみなさんで話し合ってください。

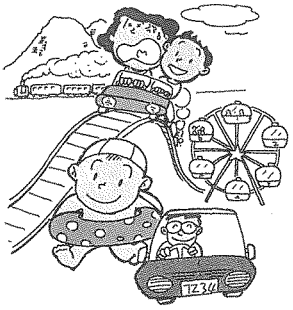


何をしようかな

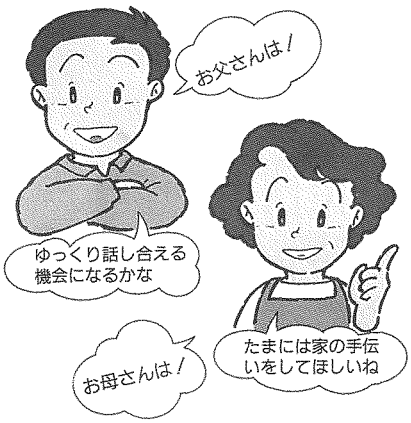
遊びたい

海・山・川へ行く
キャンプ、バーベキュー、ハイキング、木のぼり、つり

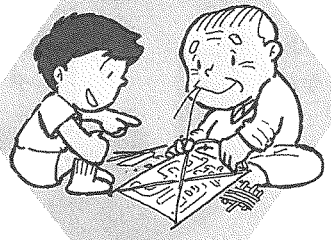
ドライブ、旅行、遊園地、プール



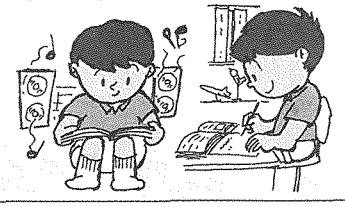
バドミントン、ドッヂボール、なわとび、キャッチボール、鬼ごっこ



こんなこともしたいな！



- 学校ではできないことに挑戦する
- ふだん遊べない友達と遊ぶ
- いつもやりたいなあーと思っていたことをやる

家でごろごろしてはいけないかな。みんなで考えて！

- 音楽を聴く
- 勉強をする
- テレビを見る
- 本を読む